

【全体概要】

ここ数年、花き流通のトレンドに変化が見られ、マーケットからはトレンドに合った品目の供給が求められており、ラナンキュラス「ラックス」シリーズや切り花サイネリアといった県内育種家が育成した品目の県内産地化が期待されている。

そこで、当該品目の県内産地化に向けた試験栽培等を行うことにより、マーケットニーズへの対応を目指す。

新品種・新技術等の概要

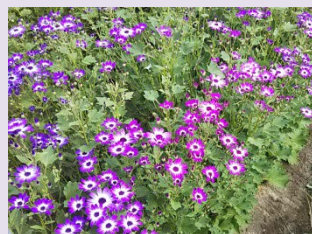
○ラナンキュラス「ラックス」シリーズ

(有)綾園芸により開発された品種であり、長野県や大分県など一部地域において普及しているものの、本県においては普及していない。



○切り花サイネリア

本県育種家が育成した鉢物用サイネリアの切り花化に宮崎県総合農業試験場が成功したことから、今後の産地化が期待される。



主な取組内容

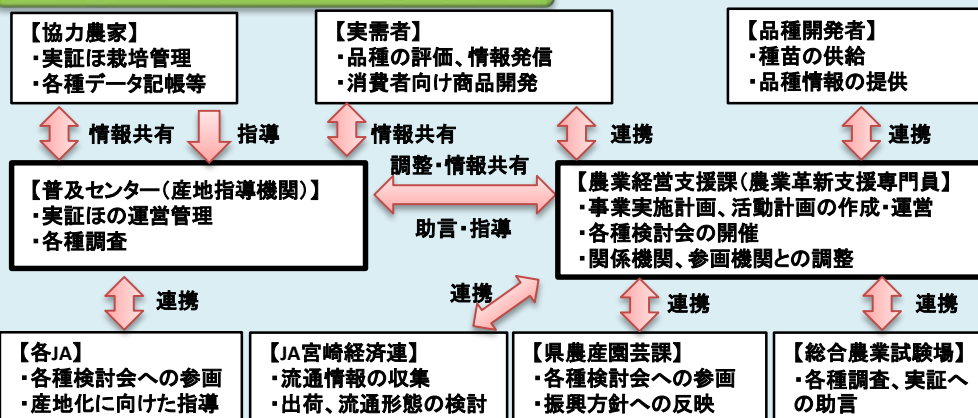
【検討会の開催】

- ・実証ほ設置検討会(2回)
- ・実証ほ現地検討会(2回)

【マッチング活動の実施】

- ・マッチング等検討会(1回)
- ・マーケット意見交換会(2回)

実施体制図



実績と今後の展開

○ラナンキュラス「ラックス」シリーズ

- ・2年間の現地試験の結果、沿海部において年末から収穫可能であることを明らかにした。

〔栽培面積〕 取組前(H29):0a→取組後(R1):2a

- ・今後は、収益性の高い品種を中心に、県内での導入推進を図っていく。

○サイネリア

- ・2年間の現地試験の結果、沿海部において3月から収穫可能であることを明らかにした。

〔栽培面積〕 取組前(H29):0a→取組後(R1):2a

- ・今後は、県内各地での導入を推進するとともに、試験場との連携により早期出荷に向けた技術の確立を図る。